



年 組 名前

道新でワークシート

釧路・根室地方の夕刊の記事と、札幌市内の夕刊の記事を読んで、あとの問いに答えなさい。

A

無人トラクター活躍

更 別

全道有数のジャガイモ産地である十勝管内の畑で、収穫がピークを迎えている。更別村の岡田農場では、無人のロボットトラクターによる掘り出し作業も初めて行った＝写真＝。今年は春以降の干ばつの影響で収量が少なくなる見込みだ。

同農場は村などと連携し、情報通信技術（ICT）を活用したスマート農業の実証実験に参加。衛星利用測位システム（GPS）を活用した無人トラクターによるジャガイモ収穫を今回初めて行った。

16畝のジャガイモ畑で「メイクイン」や「きたひめ」を栽培し、8月28日に収穫を開始。従来の方法のほか、運転席に人が乗って



いないトラクターがハーベスターをけん引して掘り起こした。同農場の方は「実験を続けながら安全に気を付けて収穫していきたい」と話した。

十勝総合振興局によると、今年の管内のジャガイモ収穫は10月上旬まで続く。5月の干ばつの影響で収量は平年を下回る見込みという。

2020年9月7日（月） 夕刊 地方 釧路・根室 5P

B

無人のトラクター ジャガイモ初収穫

スマート農業実験

更 別

道内有数のジャガイモ産地、十勝管内で収穫がピークを迎えている。同管内更別村の岡田農場では、無人のロボットトラクターによる掘り出し作業も初めて行った＝写真＝。



実証実験に参加。衛星利用測位システム（GPS）を活用した無人トラクターによる収穫を今回初めて行った。16畝の畑で「メイクイン」や「きたひめ」を栽培

し、8月28日に収穫を開始。従来の方法のほか、運転席に人が乗っていないトラクターがハーベスターをけん引して掘り起こした。十勝総合振興局によると、今年の管内のジャガイモ収穫は10月上旬まで続く。5月の干ばつの影響で収量は平年を下回る見込みという。

と、今年の管内のジャガイモ収穫は10月上旬まで続く。5月の干ばつの影響で収量は平年を下回る見込みという。

2020年9月4日（金）夕刊 地方 札幌市内 総合 5P

① Aの記事の線部「今年は春以降の干ばつの影響で収量が少なくなる見込みだ。」と同じような内容を表している一文をAの記事の中から書き抜きなさい。

② Aの記事には書いているが、Bの記事には書いていないことを次の選択肢から選びなさい。

- ア 岡田農場では、無人のロボットトラクターによるジャガイモの掘り出し作業を初めて行った。
- イ 岡田農場にある16ヘクタールのジャガイモ畑では「メイクイン」や「きたひめ」を栽培している。
- ウ 岡田農場の方は、「実験を続けながら安全に気を付けて収穫していきたい」と話している。
- エ 十勝総合振興局は、今年の管内のジャガイモ収穫は10月上旬まで続くとしている。